

### 国立国会図書館はどんな図書館なの？

国立国会図書館には、東京本館（東京都）や関西館（京都府）、国際子ども図書館（東京都）などがあります。

主な役割として、国会の図書館・立法補佐機関としてのほたらしの他に、日本国内で発行される全ての出版物を集めて保存する役割があります。この収集を支えるために「納本制度」と呼ばれる制度があり、出版物を発行したときは1部（団体により部数は異なる）を納めることが国立国会図書館法により義務付けられています。出版物の対象となるのは、図書・雑誌・新聞だけでなく、2000年からはCDやDVDなどの電子出版物も含まれることになりました。（もちろんマンガも保存されています。）これらを永久保存するために、さまざまな保存技術を持った職人さんも働いています。

第7章で紹介した国立国会図書館の蔵書検索システム「NDL-OPAC」では、図書、新聞、電子資料（CD-ROM等）、博士論文などを検索できる「一般資料の検索」、国立国会図書館で作成してデータベース化された雑誌記事を検索できる「雑誌記事索引の検索」、その他「規格・テクニカルレポートの検索」「点字図書・録音図書全国総合目録検索」から国立国会図書館が所蔵する資料を検索することができます。文献（図書やコピー）を取寄せたい場合は図書館へ申し込んでください。（8.1を参照）なお、コピーの取り寄せについては個人で申し込むこともできます。インターネットから申し込む場合には利用者登録が必要です。

さて、みなさんは国立国会図書館を利用できるのは国会議員だけ？と思いませんか？もちろん国民のための図書館ですので、満18歳以上であれば誰でも利用できることになっています。

#### ■ 国立国会図書館（国立国会図書館）

<http://www.ndl.go.jp/>

#### ■ NDL-OPAC（国立国会図書館）

<http://opac.ndl.go.jp/>

